

整理番号	42 - 24	事務事業名	進路指導連絡協議会 交付金交付事業		作成部署	管理部管理課	電話	内線886
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	鈴木正広	課長職名	青山章二	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度		根拠法令等	北広島市教育関係団体補助金等交付規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市内中学生の進路指導が円滑かつ適正に推進されることを目的とする。							

**1 計画(プラン)**

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	学校教育	(第2節)
	施策	教育内容の充実	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市内中学生	
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	生徒それぞれの個に応じた適切な進路指導を行うため、効率的に調査・研修活動等を進める。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	【進路指導連絡協議会の活動】 市内の連絡協議会や石狩管内進路協議会また第7学区協議会では、進路情報の収集・調査と交流などを実施し、学校への情報提供、私立高校統一説明会を開催した。 北広島市進路指導連絡協議会の開催、石狩管内進路協議会、第7学区協議会等への参加。私立合同説明会の実施。
		17年度	同上

**2 実施(ドウ)**

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	46	46	76	76
	合計	46	46	76	76
人件費(概算)	人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	450	450	450	450
総事業費 +		496	496	526	526

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	会議・説明会等開催回数	7回	8回	8回	8回
	卒業生徒数	677人	653人	640人	629人
	進学・就職者数	673人	647人	640人	629人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	卒業生の進路 (進学・就職者数/卒業生徒数)	99.4%	99.1%	100.0%	100.0%
	効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	生徒一人当たりのコスト (補助事業費/卒業生徒数)	68円	71円	119円

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	各学校から「石狩管内進路協議会」へ納付する学校負担金を、保護者から進路指導費の一部として徴収している。他市においては、市が負担している例もある。
---------------------------------	--

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市立中学校の生徒に対する進路指導について、円滑かつ適正に推進され妥当と考える。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	進路指導に係る経費について、各学校において保護者から進路指導費を徴収しているが、保護者負担の軽減を図る上で、妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市立中学校が連携して情報収集や情報提供を行うことが効率的であると考える。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	保護者負担について、軽減の方向で検討する必要がある。	

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	適切に進路指導がなされ、概ね成果が上がっていると考え。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	団体に補助金として交付し、自主的な活動ができることから、概ね効率的と考える。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	適切に進路指導がなされ、概ね成果が上がっていることから、現状のままで継続する。 各学校から「石狩管内進路協議会」へ納付する学校負担金については、H17年度から補助金の増額により保護者負担を軽減している。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	42 - 24
------	---------

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市進路指導連絡協議会交付金		
交付先の名称及び代表者名	北広島市進路指導連絡協議会 会長 戎屋 健一	設立年	
構成員(団体)数	市内6校の中学校の代表 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	市内中学校への進路指導情報の収集と提供		
交付先団体等の活動内容	進路指導情報の収集と提供 私立高校合同説明会		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	46,000	46,000	76,000	
	学校負担金				
	会費				
	諸収入				
	その他(研修負担金)				
	繰越金				
	<b>収入合計(B)</b>	46,000	46,000	76,000	
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	14,308			
	旅費		6,000	12,000	
	負担金			27,000	
	会議費	19,000			
	役務費		1,200		
	事業費		626	10,000	
	事務局費	12,692	38,174	27,000	
	<b>支出合計(C)</b>	46,000	46,000	76,000	
繰越金	<b>収入(B) - 支出(C)</b>	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		100 %	100 %	100 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		運営費・研修事業費	同左	同左	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		46,000	46,000	76,000	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		100 %	100 %	100 %	
補助・交付金の算出根拠					